

拜啓

父が七十年りおこし 早 二ヶ月余り

七年前 父が 病氣になりました時 地元（東京）の企業経営

というこゝで 守にこそお願ひできるのでせよ 救急のお願ひを

させていた下さりました。

父が 倒れて 何を信じてよいのか分からなく したに

おまゝで 悲しく 当初 専務様には どのすぐく 苦情を

申し上げました。

専務様は 私の苦情を 黙って聞いて下さりました。

その時の 謙虚な姿勢と 善処する対応の早さに 感謝

致しました。

その後 救急のお仕事には 皆様 礼儀正しく 細心の注意を

払い 搬送していただき 父と何んか大事もなく 病院を

往復するこゝかできました。

どうもありがとうございました。

また葬儀に際しましては、私共の気持ちで思い、心が

落ち着く様に、ゆつたりとした思いやり、あまの静し方で、時には

ひよろきんな表情で、私共を下さいます。

お道具とかの準備を下さる事も、ときばきこども

ゆつたりとした所作で、私共をいたわって下さるふに、伝わり

とつとも、字のまじり。

その姿は、とつともきれいで、頼しく、母、姉、私、それだけ

思いつ、同じでございませした。

とつとも、格好良かったです。

ご挨拶状のご振葉は、会葬いただいた方々からも好評で

内内で、葬儀を行ないました私共にとりましては

お世話になりました。方々へ、感謝の気持ちをお伝えする

場を、与えていただきました。今、本当に心穏やかに

毎日を、送ることにできます。

どうもありがとうございました。

尊儀 四十九日の法要 喪中はがきのお手配と
多くのお心遣いと お手配を とつていただき 何んにも
おからない私共の代わり 取り仕切って下さいますこと
にぞいに感謝申上げますばかりでございます。
企業理念でございますか。

「もう一人の家族に下りたい
いから、そう思い、実践される。

その温かさで、大きな悲しみの中はいる 私共は 伝わり
何よりも、癒されたい。

ズレた様に、心より感謝申上げます。
本当のこととありかとうござります。
まさは、御礼まで。

乱筆 乱文にて 夫に致しませう。